

項目別評価 総括表

公立大学法人会津大学

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	101	B	107	C	28	D	9	II	
		A	37	B	79	C	17	D	9		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	64	B	28	C	11	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	69	B	78	C	17	D	5	II	
		A	23	B	53	C	11	D	5		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	46	B	25	C	6	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	9	B	7	C	2	D	0	I	<p>(会津大学)</p> <p>学士課程については、平成20年4月から、これまでの2学科をコンピュータ理工学科の1学科に再編し、カリキュラムも学生が希望する進路に応じて授業科目が選択できるように改正した。</p> <p>大学院課程については、平成20年4月から、これまでの2専攻をコンピュータ・情報システム学専攻の1専攻に統合するとともに、博士後期課程には、世界最高水準のITスペシャリストを育成するための情報技術・プロジェクトマネジメント専攻を新設した。これらのことについて評価できる。</p>
		A	5	B	7	C	2	D	0		
		<p>(会津大学)</p> <p>課外プロジェクトなど学生の意欲や自主性を尊重する科目の円滑な運用及びコンピュータ理工学に対応する英語教育の実施などについて、概ね計画どおり実施した。</p>									
		A	4	B	0	C	0	D	0		
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	31	B	35	C	6	D	3	II	<p>(会津大学)</p> <p>留年や中退を減らし、毎年定員(240名)以上の卒業生を輩出することを目的に、平成19年度より文部科学省の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」で「プロジェクト卒業生240+α」が採択され、これに基づき修学支援室を設置し、3名の修学支援員を常駐させ、TAも活用しながら、修学状況に不安や悩みのある学生に支援を行ったことについて評価できる。</p> <p>(会津大学短期大学部)</p> <p>資格取得希望者に対する指導等に努めた結果、中期計画の数値目標について、食物栄養学科の栄養士免許資格では数値目標を達成したことについて評価できる。</p> <p>社会福祉学科の保育士資格及び社会福祉士受験資格については、その向上が求められる。</p> <p>栄養士免許資格 実績100.0%(目標100%) 保育士資格 実績93.1%(目標100%) 社会福祉士受験資格 実績89.3%(目標100%)</p>
		A	11	B	25	C	6	D	3		
		<p>(会津大学)</p> <p>優秀な学生の確保及び各種コンテストや学会への学生の参加支援などについては、概ね計画どおり実施したものの、学部と大学院の学期制共通化、博士後期課程の複数教員による指導体制の試行的実施及び外部での修士論文発表の義務づけ方法の検討について具体的な取り組みに至らなかった。</p>									
		A	20	B	10	C	0	D	0		
		<p>(会津大学短期大学部)</p> <p>入学試験制度の検証と見直し、少人数教育による双方向コミュニケーションを重視した教育、情報リテラシー教育の充実、オフィスアワー等による個別指導の充実、学生参画型実践教育の充実などについて、計画を上回る実績をあげた。</p>									

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	7	B	19	C	3	D	1	II	(会津大学) FD (faculty development: 教員能力開発) 検討ワーキンググループを設置し、FD活動の基本的な方針や推進体制、具体的な方策等について検討を行い、今後のFDを推進する際の指針となる報告書を取りまとめたことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 多様な地域課題をテーマにして学科横断的に解決を図る教育の実施体制を整えるとともに、平成20年度から「地域プロジェクト演習」を新設し、地域課題の解決に学生が積極的に参画できるようにしたこと、「地域プロジェクト演習」は全学科で受講できるように自由科目としたことについて評価できる。
		A	1	B	10	C	0	D	1		
		(会津大学) FD検討組織における検討などについては、概ね計画どおり実施したものの、認証評価に向けた準備としてのデータ収集について具体的な取り組みに至らなかった。									
		A	6	B	9	C	3	D	0		
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	22	B	17	C	6	D	1	I	四大、短大ともに就職活動に対する各種支援を行い、中期目標の数値目標(就職希望者の就職率)について、短大では数値目標を達成したことについて評価できる。 四大(学部)及び四大(大学院)ではわずかに及ばなかった。 四大(学部) : 実績99.4%(目標100%) 四大(大学院): 実績97.8%(目標100%) 短大 : 実績98.3%(目標 95%)
		A	6	B	11	C	3	D	1		
		(会津大学) 修学支援室による成績不振学生のサポート、学生寮の検討及び学生の就職支援などについては、概ね計画どおり実施したものの、博士後期課程の学生の研究職や教員への就職のための情報交換の場の設営検討について具体的な取り組みに至らなかった。									
		A	16	B	6	C	3	D	0		
		(会津大学短期大学部) オフィスアワー等によるきめ細かい学生指導、授業料免除制度や奨学金制度の活用による経済的支援、「進路ガイドブック」の作成・活用等による進路決定支援などについて、概ね計画どおりに実施した。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	15	B	19	C	8	D	4	II	
		A	6	B	17	C	4	D	4		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	9	B	2	C	4	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	7	B	9	C	3	D	0	II	(会津大学) 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との覚書に基づき、月周回衛星(かぐや)のデータを活用し、月表面の三次元地図制作及び月面地理情報システム構築の研究を進め、国内外の国際会議5件に招待講演を行ったほか、若手研究者による科研費での研究や共著での書籍の出版等を行ったことについて評価できる。
		A	3	B	7	C	2	D	0		
		(会津大学) 月周回衛星(SELENE)データの利用促進に向けた研究開発、国際会議への支援及び公開講座、産学連携フォーラム等の開催による研究成果の社会への還元などについては、概ね計画どおり実施した。									
		A	4	B	2	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 研究成果の「研究年報」「地域研究」等への掲載、地域活性化センター事業の展開や卒業研究の活用などについて、概ね計画どおり実施した。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	8	B	10	C	5	D	4	II	(会津大学) 重点的に推進すべき特定プロジェクトについて横断的に取り組むための研究組織として、先端情報科学研究センターの検討を行い、平成21年4月から設置したことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) 地域活性化センターを核にして、大学が持つ専門分野を生かし、平成20年度には以下の事業について、卒業研究の一環として学生も参加して行ったことについて評価できる。 ①『食を通じた「子育て・子育て」支援事業』(福島県保健福祉部からの受託事業) ②『「会津の宝」活用事業』(会津地方振興局との協働・受託事業) ③『新たな機能を付加した会津桐によるバリアフリー商品の開発』(東北経済産業局からの受託事業)
		A	3	B	10	C	2	D	4		
		(会津大学) 特定のプロジェクトを推進するための横断的・自由集結的な組織の設置などについては計画どおり実施したものの、大学としての研究成果の評価を行うためのデータ収集、教員評価のあり方及び実施主体等の検討のためのデータ収集などについては、具体的な取組みに至らなかった。									
		A	5	B	0	C	3	D	0		
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	13	B	9	C	3	D	0	I	
		A	5	B	8	C	2	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	8	B	1	C	1	D	0		
(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。											

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	9	B	6	C	2	D	0	I	(会津大学短期大学部) 地域活性化センター事業として、『食を通じた「子育て・子育て」支援事業』では、県内幼稚園等と連携し、食育の体験学習会による実践的普及活動を行い、『「会津の宝」活用事業』では、「地域情報発信事業」等を県の関係する出先機関と連携して実施し、『新たな機能を付加した会津桐によるバリアフリー商品の開発』では、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターの知的財産を活用し、5企業3機関が連携・協働し、地域資源「会津桐」の活用を図る商品開発等を行ったことについて評価できる。
		A	4	B	5	C	1	D	0		
		(会津大学) コンピュータサイエンスサマーキャンプ、パソコン甲子園の実施、公開講座等の開催などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	5	B	1	C	1	D	0		
(2)	産学官連携の推進に関する具体的方策	A	3	B	1	C	1	D	0	I	(会津大学) 「会津ITサマーフォーラム2008」は、県内外のIT企業、技術者、研究者及び学生などを対象とした「先端Webテクノロジー」と、地域住民や地場産業界を対象とした「ITの利活用」の2つを主テーマに開催し、県内外のIT企業・関係団体を中心に協賛と参加を募り、多くの企業から賛同を得た。 経済産業省・文部科学省共管のアジア人財資金構想「高度専門留学生育成事業」の採択を受け、地元のベンチャー企業等と連携し、国際的にも通用する会津発のグローバルITリーダーとして、安全な組込みシステム開発技術者を育成する人材育成プログラム「国際IT日新館」を開設した。 会津大学発ベンチャー企業については平成20年度末で25社と着実に増加しており、全国の公立大学では1位となっている。 これらのことについて評価できる。
		A	1	B	1	C	1	D	0		
		(会津大学) 会津ITサマーフォーラムの実施などについて、概ね計画通り実施した。									
		A	2	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センター運営推進会議（産官民学の38団体に委嘱）の開催による、地域課題の共有化、地域連携の推進等についての協議の実施、本学教員の研究シーズ集の新規作成などについて、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目			公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
			計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
(3)	地域貢献の評価に関する具体的方策	A	1	B	2	C	0	D	0	II		
		A	0	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学) 地域貢献となる事業項目の評価などについて、概ね計画通り実施した。										
		A	1	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 地域活性化センターを中心とした地域貢献の事業項目にかかる評価について、計画を上回る実績をあげた。										

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	A	4	B	1	C	0	D	0	I	
		A	3	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績をあげた。									
(1)	国際交流の推進に関する具体的方策	A	4	B	1	C	0	D	0	I	(会津大学) 国際戦略本部において海外の大学との国際交流協定締結を進め、中期計画の数値目標(締結校15校)に対し、平成20年度末で既に41校との締結を行い、大きく数値目標を上回っている。また、国際共同研究のための協定を2校と、デュアルディグリープログラムに関する覚書を2校と新たに締結した。 交流協定に基づく具体的取組みとして、国際学会や国際会議の開催のほか、共同研究、学部生交流及び大学院生交流を積極的に行った。 これらのことについて評価できる。
		A	3	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 国際交流協定の締結、締結校との具体的交流などについて、計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 教養基礎科目の総合科目における国際交流に関する授業について、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	5	B	32	C	3	D	0	II	
		A	4	B	25	C	1	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	3	B	20	C	2	D	0		
		(会津大学短期大学部) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	8	C	0	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	効果的な組織運営に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
		柔軟で機動的な法人運営を実現するため、役員会、経営審議会、教育研究審議会を適切に運営するなど、概ね計画どおり実施した。									
(2)	戦略的な学内資源配分の実現等に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	(会津大学) 文部科学省等の採択事業において、そのプロジェクトに付随した専門的知識・能力を有した職員を期限付き職員として13名採用したことについて評価できる。
		各種委員会の運営及び学外委員の登用などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大のA、B、C、Dは0、3、0、0である)									

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
2	教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	2	B	1	C	0	D	0	I	
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績をあげた。									
(1)	教育研究組織の柔軟かつ機動的な編成・見直し等に関する具体的方策	A	2	B	1	C	0	D	0	I	
		A	1	B	1	C	0	D	0		
		(会津大学) 組織の見直しなどについて、計画を上回る実績をあげた。									
		A	1	B	0	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 組織の見直しなどについて、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
3	人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	1	B	15	C	3	D	0	II	
		A	1	B	8	C	1	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	0	B	7	C	2	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画どおり取り組んだものの、実施が不十分であった。									
(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	1	B	9	C	1	D	0	II	(会津大学) 教員の教育・研究への意欲を喚起できるよう准教授から上級准教授への学内昇任基準を、平成19年度に整備し、平成20年度において5名の准教授について、上級准教授への昇任を行った。 新規採用教員に対する任期制について、教育研究審議会において制度導入を決定した。 これらのことについて評価できる。
		A	1	B	5	C	0	D	0		
		(会津大学) 多様な任用制の検討などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	0	B	4	C	1	D	0		
		(会津大学短期大学部) 優秀な女性教員の採用、ハラスメント防止のためのガイドラインの策定などについて、概ね計画どおり実施した。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
	(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	0	B	6	C	2	D	0	II	
			A	0	B	3	C	1	D	0		
			(会津大学) 学内昇任基準の適正な運用などについて、概ね計画どおり実施した。									
			A	0	B	3	C	1	D	0		
	4	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	8	C	0	D	0	II	
			概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
	(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	(会津大学) 専門的知識、能力を有する大学法人職員の採用については、段階的、計画的な採用を行うため、職員採用試験を実施し、2名を採用した(平成20年4月：1名、平成21年3月：1名採用)ことについて評価できる。
			法人職員の採用、研修受講による能力の向上などについて概ね計画どおり実施した。									
	(2)	事務処理の効率化・合理化に関する具体的方策	A	2	B	5	C	0	D	0	II	
			学生へのサービス向上及び事務組織の検討などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大のA、B、C、Dは2、3、0、0、である)									

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	2	B	13	C	2	D	0	II	
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
1	外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	1	B	8	C	1	D	0	II	両大学ともに、金額ベースでは減少したが件数では平成19年度を上回る外部資金を獲得したことについて評価できる。
		大学施設の利用による収入増などについては、概ね計画どおり実施した。 (短大のA、B、C、Dは0、7、1、0、である)									
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	1	D	0	II	
		組織見直し及び会議開催等の効率化・合理化については計画どおり実施したものの、環境方針の周知・推進については、実施が不十分であった。 (短大のA、B、C、Dは0、2、1、0、である)									
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	3	C	0	D	0	II	
		施設利用の増加などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大のA、B、C、Dは0、3、0、0、である)									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	1	B	11	C	4	D	2	II	
		A	1	B	6	C	1	D	2		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	0	B	5	C	3	D	0		
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	(会津大学短期大学部) 計画どおり取り組んだものの、実施が不十分であった。								III	(会津大学) 教員評価に向けた検討組織の設置等が求められる。
		A	0	B	4	C	4	D	1		
		A	0	B	3	C	1	D	1		
		(会津大学) 自己点検評価の実施及び内部牽制体制の強化などについては計画どおり実施したものの、教員評価の検討については具体的な取組みに至らなかった。									
		A	0	B	1	C	3	D	0		
(会津大学短期大学部) 教員評価などについては、実施が不十分であった。 なお、評価組織を活用した評価や結果の公表については、計画どおり実施した。											

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	1	II	
		A	0	B	1	C	0	D	1		
		(会津大学) 認証評価の準備については、具体的な取組みに至らなかった。なお、評価結果の公表については計画どおり実施した。									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	(会津大学) 各部門・センターの代表で組織したFD検討WGを平成20年6月26日に設置し、FD活動の基本的な方針や推進体制、具体的な方策等について検討を行い、報告書を取りまとめたことについて評価できる。
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学) FD検討組織における教員の研修検討などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	0	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) FD活動としての公開授業及び公開授業後の意見交換会の実施などについて、概ね計画どおり実施した。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	3	B	5	C	0	D	0	II	
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) 概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
		A	2	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 計画を上回る実績をあげた。									
1	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報公開・提供、広報に関する具体的方策	A	3	B	5	C	0	D	0	II	(会津大学) オープンキャンパスに併せて実施しているオープンラボ(研究室公開)の研究室数は18(平成19年度は16)となり、入場者は平成19年度と比較して約1.4倍となった。また、専任の広報囀託員による広報業務体制の強化に努めた。これらのことについて評価できる。 (会津大学短期大学部) ホームページについては、更新を積極的に行った。また、オープンキャンパスを学園祭でも行い、年2回開催した。これらのことについて評価できる。
		A	1	B	3	C	0	D	0		
		(会津大学) ホームページの充実、オープンキャンパスの開催などについて、概ね計画どおり実施した。									
		A	2	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) ホームページの積極的な更新や報道機関などの活用による広報の充実、オープンキャンパスの内容の充実などについて、計画を上回る実績をあげた。									

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	13	C	4	D	1	II	
		概ね計画どおり実施したものの、一部の項目については具体的な取組みにいたらなかった。									
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的な方策	A	0	B	6	C	1	D	1	II	(会津大学) ユニバーサルデザインの推進に向け、現況調査を踏まえて重要度や緊急性の高い部分について、改修を行ったことについて評価できる。
		省コスト・省エネルギーに繋がる設備運用や機器更新などについては概ね計画どおり実施したものの、キャンパス整備に関する基本的な考え方の策定については、具体的な取組みに至らなかった。 (短大のA、B、C、Dは0、2、0、1、である)									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	3	D	0	II	(会津大学短期大学部) 学生相談室、保健室が周知され、保健室の利用件数が以前に比べて増えたことについて評価できる。
		学生相談室、保健室の周知・環境整備などについて、概ね計画どおり実施した。 (短大のA、B、C、Dは0、5、3、0、である)									
第1～第6 (計346項目)		A	112	B	181	C	41	D	12	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・年度計画を上回って実施している
- B・・・年度計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・年度計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・年度計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・年度計画を十分に実施できている
- II・・・年度計画をおおむね実施できている
- III・・・年度計画を十分に実施できていない
- IV・・・年度計画を実施できていない